



令和6年度さやま元気っこ推進事業

元気っこ こども広場 ボランティア スタッフ募集

元気っこは、子どもたちが安全に安心してのびのび過ごせる放課後の居場所作りです。子どもたちが日々大きくなっていく姿をあたたかく見守り、自由遊び「こども広場」の中で一緒にからだを動かしたり、クラフトを楽しんだり、安全のためのルールを守る大切さを考えながら活動していただけるボランティアスタッフを募集しています。

対象

高校生以上のボランティア活動に興味のある人（資格は不要です）

こども広場の実施曜日

月曜日 南三小

水曜日 東小、南一小、北小、第七小

木曜日 西小

金曜日 南二小

時間

午後2時30分集合、午後5時ごろ解散

※11月から2月の冬期期間は午後4時45分ごろ解散

※南一小は午後1時20分集合、午後3時45分ごろ解散

※第七小は午後2時15分集合、午後4時45分ごろ解散

集合したら会場の準備をして、帰りは片付けふりかえりをして解散

学生ボランティアは学業を優先して、活動に参加してください

持ち物・服装

水筒、タオル、体育館シューズ、トレーニングウェアなどの動きやすい服装

謝礼金

参加 1 回 1,000 円 (所得税 10.21% を差引いた金額を口座振込みします)

スタッフ登録の手順

「子ども広場ボランティアスタッフエントリー票」を提出し登録してください。

(市役所生涯学習グループへ持参または郵送)

※スタッフエントリー票はホームページからもダウンロードできます。

※謝礼金お支払いのためマイナンバー登録と債権者登録をお願いしています。

保険の加入

登録者は傷害保険(スポーツ安全保険)に加入します。

手続きと費用負担は生涯学習グループが行います。

社会福祉協議会のボランティア保険に加入している方も本事業は別加入です。

時間変更など

学校の行事や事案発生、悪天候などで急にお休みになることもあります。元気っこのホームページにて、実施前日の 18 時までにお知らせしますので参加前にホームページを確認してください。

(最終ページ QR コードまたは

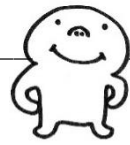
大阪狭山市 (小学校名) 元気っこ

 で検索)

《スタッフのうごき》

★(星印) リーダーがする ○(白丸) リーダーもみんなも一緒に

- ★ 職員室へ行き、先生にあいさつをして実施会場の鍵を借り、元気っこのファイルボックスをとる
- ★ 会場の鍵をあける
- 照明をつけ、扉・窓をあける
- 必要な机・遊び道具を出す
- ★ スタッフ・講師に出席のサインをしてもらう
- ★ 子どもの出席をとる(3回続けてお休みの子はいませんか?居たら事務局へ連絡してください)
- ピブスを忘れた子どもが居たら貸出し、ピブス貸出し簿に記入する
(洗濯をして次の元気っこで返却するよう伝えてください。返却があったときの記入も忘れずに)
- ★ 元気っこ日誌を記入する(人数、子どもの様子、連絡事項)
- 終わりの時間が近づいたら遊び道具を片付ける(壊れたもの、無くなったものはないですか?)
- ★ 解散前に子どもの人数を数える(出席簿と人数は合っていますか?)
- 扉・窓を閉めて、照明を消す
- ★ 会場の鍵を閉める
- ★ スタッフみんなでその日のふりかえりをする(スタッフへの連絡、共有しておくこと)
- ★ 職員室へ鍵とファイルボックスを返しに行き先生にあいさつをして帰る
- ★ 子どものことで保護者への連絡が必要なときは事務局へ連絡する



1、 まずは自分にできることから

はじめから無理や背伸びをすると、途中でくじけることになりかねません。特技がないから役に立てないということは決してありません。自分にできることを見つけて行きましょう。見守りは自分をみつめることでもあります。

2、 相手の立場、気持ちを尊重して行動を

どんなに自分が良い、正しいと思っても、善意や正義が相手にとっては迷惑なこともあります。思い込みや押し付けは禁物です。相手にとっては何が良いのか、よく聞いてみましょう。

3、 細くても長く続けられる活動を

短期間ですぐに成果が現れることが無くても、継続して行うことで成果が見えたり、心を込めて続けていると信頼を得ることがあります。活動を自分の生活のリズムに取り入れて行くのが長続きのコツです。自分には出来ない事、出来ない時に自分できちんと伝えることも大事です。

4、 約束を守ろう

活動には信頼関係が重要です。時間や約束事を守りましょう。時間に遅れるときは連絡を。約束が果たせない事情や悩みがあるときは、ひとりで抱え込まず相談してみてください。

5、 初心を忘れず謙虚な気持ちを大切に

慣れてくると周囲のことがよく見渡せるようになります。その反面で、自分自身を振り返る、省みることが忘れてしまわないように心がけましょう。責任を持って活動していれば、不満や不服が出てきても不思議ではありません。感じた気持ちや体験をとおし、改善、改良を考え合える「経験者」になって、みんながお互いに学び合う活動にしていきましょう。

6、 秘密を守ろう

活動の中で様々な情報を知り得ることがあっても、プライバシーを守り、お互いの信頼関係を大切に築いていきましょう。

7、 安全対策はみんなで取り組む

危険の予防、応急手当、緊急時対応を怠らないようにしましょう。また、荷物を整頓して置くことや、きちんと列に並ぶことは、素早い非難を助けます。安全のためにみんなで共有しましょう。

8、 失敗体験を糧に自分を成長させよう

失敗や間違いは誰にでもあることで、自分にもあることかもしれません。誰かを責めることなく、助け合って一緒に次からの糧にしていきましょう。活動の進め方や、子どもたちへの接し方を、いつでもスタッフ間で話し合えるようにしましょう。

9、 笑顔と素直を大切に

やさしい言葉を使い、挨拶は笑顔で元気に。たくさん「ありがとう」を伝えましょう。でも悪いことをしたな、と思ったら素直に「ごめんなさい」。よい挨拶の習慣は、防犯にも役立ちます。

10、 家族や周囲の理解を得よう

自分の生活や健康を大事にして、家族や学校、仕事を犠牲にすることなく、自分が何のために活動に参加するのかを自分で説明できるようになって、あたたかい理解を得て活動しましょう。そうして活動の輪をひろげましょう。

元気っこホームページのQRコード



東小元気っこ



西小元気っこ



南一小元気っこ



南二小元気っこ



南三小元気っこ



北小元気っこ



第七小元気っこ

元気っこはいつでも見学できますが、事前に市役所生涯学習グループにご連絡ください。お名前と連絡先、見学希望会場と希望日をお聞きます。現場スタッフへ伝えますので当日到着したら、かならず会場に居るスタッフにお声掛け願います。

また、元気っこの実施会場は学校ですが、元気っこは生涯学習グループの取り組みですので元気っこに関する質問やお問い合わせは、学校ではなく市役所生涯学習グループまでお願いします。

【問い合わせ】

大阪狭山市教育委員会 生涯学習グループ

072-349-9487 (直通)

shakaikyoiku@city.osakasayama.osaka.jp